



# がっ こう 学校だより

よこはましりついできた しょうがっこう  
横浜市立飯田北いちよう小学校  
へいせい ねん がっ こう  
平成27年 2月号  
がっ にちはっ こう  
1月30日発行

## せつぶん がつみつか りっしゅん がつよつか 節分(2月3日)と立春(2月4日)

1 2月から1月にかけて、寒波の襲来で気温が低い日が多くありました。それに伴いインフルエンザの流行があり、横浜市内でも学級閉鎖を行っている学校があります。幸い、飯田北いちよう小学校では、インフルエンザにかかった人は少ないようですが、これからも寒く乾燥した日が続きます。十分注意して学校生活を送りたいと思います。



さて、2月といえば節分が思い浮かびます。節分には、「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをする習慣がありますが、この豆まきはいつ頃から行われている行事なのでしょう。調べてみると、今から約600年ほど前の室町時代に、お寺や神社が邪気払いに行っていた「豆打ち」の儀式が始まりということが分かりました。豆は「魔滅」にかけ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願ったとされています。豆まきでは、まかれた豆を、自分の年齢(数え年)の数だけ食べる、または、自分の年の数の1つ多く食べると、体が丈夫になり、風邪をひかないと言われています。(元々、鬼に豆をぶつけて追い払う儀式は、お隣の中国で行われていたものが日本に伝わったようです。)

また、一部の地域では、縄に 柎 やイワシの頭を付けた物を門に掛けるところもあります。これは、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられていた頃、それを追い払うために行われたと言われています。

豆まきに使う豆は、炒った大豆(炒り豆)が多いようですが、北海道・東北・北陸・南九州では落花生をまく地域もあるそうです。豆をまく際の掛け声も「鬼は外、福は内」が多いようですが、地域や神社によっては、別の掛け声もあるようです。調べてみるのも楽しいと思います。



節分の翌日、2月4日は立春です。暦の上では春ということになりますが、一年中で一番寒い時期になります。縁起を担いで豆まきで、風邪をひかなように願うことも良いかもしれませんが、外で元気よく遊んだり、手洗い・うがいを徹底したり、「早寝・早起き・朝ごはん」などの健康的な生活リズムを守ったりして、積極的に健康作りを行い、この時期を元気に過ごしたいと思います。